

一般社団法人 鴨川青年会議所

2021年度 新年総会

2021年1月12日

目次

★ 2020年度事業報告

理事長報告	2
副理事長・専務理事・監事報告	4
事項別事業報告	
1. 組織	7
2. 会議	7
3. 理事会	8
4. 例会	13
5. 委員会報告	
運営委員会	14
地域創生委員会	18
6. 収支決算報告書	23
7. 事務局準備金明細書、周年準備金明細書、固定資産明細書、貸借対照表	25
8. 財産目録	26
9. 監査報告書	26
10. 正味財産増減計算書	27

★ 2021年度事業計画案

理事長所信	28
委員会事業方針・事業計画	31
収支予算	32
組織図	34
役員名簿	34
年初決定事項	35

理事長報告

【スローガン】

We Believe

2020年度 理事長 座間 斉

激動の2020年が終わりました。

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、非常に大きな変化があった一年となりました。緊急事態宣言の発令や外出自粛要請、営業自粛要請を受け、自分自身そしてメンバーの生活にも大きな変化が訪れたと思います。「3密の回避」や「ソーシャルディスタンスの確保」など、「ニューノーマル元年」と言えるのが2020年でしょう。そして、テレワークの急速な普及により、おうち時間を活用した『おうち〇〇』もたくさん登場しました。

そんな激動の2020年を振り返ってみると、失ったものも多かったかもしれませんが、withコロナだからこそ得られたものも決して少なくないのではないのでしょうか。

まず、正木専務率いる運営委員会では「会の円滑な運営そして会員拡大」をテーマに一年間頑張って頂きました。1月の新年総会、新年会を開催致しました。数々の来賓の皆様、各種諸団体の皆様、シニアクラブOB会員の皆様、そして秋場泰人君をはじめとする千葉ブロック協議会の皆様、勝浦いすみ青年会議所の皆様に盛り立てて頂きました。9月定時総会では感染拡大に留意しながら2021年度体制をお披露目する事が出来ました。しかしながら4月6日と新型コロナウイルス蔓延により会員拡大例会を行う事が出来ませんでした。理事会ではZoomを使い新しい形での会議を運営する事が出来ました。

榊原委員長率いる地域創生委員会では「まちづくり、ひとづくりそして会員拡大」をテーマに頑張って頂きました。2月3月の会員拡大例会、5月の講師例会を予定しておりましたが緊急事態宣言の為、やむを得ず中止させて頂きました。そして7月にはZoomによる初めてオンライン上で例会を行い、社会情勢や今後日本が抱える問題について学びました。8月にはコロナ川柳を開催し鴨川市及び近隣住民を対象に自粛要請にまつわる川柳を募集し、109作品の中からメンバーにて厳選な抽選を行い、優秀選3作品、理事長特別賞1作品を例会にて選ばせて頂きました。両委員会とも情勢を意識しながら新しい物を取り入れ例会

を開催して頂きました。本当に感謝しかありません。

2020年度では12名でのスタートとなり今年一年会員拡大をしなければならないと言う背水の陣で挑みましたが、2月よりの新型コロナウイルスの影響により1名の入会となってしまいました。その事はメンバーの心に影を差し著しくモチベーションを下げる結果となってしまい、「解散」と言う事も次年度以降残るメンバーから意見が出ました。一時は解散と決まりかけましたが、千葉ブロック協議会 会長 鈴木照久君や副会長 秋場泰人君、シニアクラブ会長 長谷川裕一先輩など多くの人たちの助けにより存続の道を選ぶ事が出来ました。新型コロナウイルスの影響とはいえ、諸先輩方が52年間繋ぎ情熱を注いで頂いた鴨川青年会議所の「炎」を消し「大切な場所」を失う所でした。その節は大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。小さくなった炎ではございますが、2021年度理事長 小越友君という「笑顔」あふれる燃料得て「炎」を大きくして参ります。

withコロナで始まる2021年の旅、鴨川青年会議所の未来、鴨川市の未来に向け、私たちは燃え盛る「炎」でありつづけます。そして多くの方々と出会い手を取り合ってひとつずつ「夢」を叶えて行きます。

最後になりますが本年、お世話になりましたメンバーの皆様・OBの皆様、また私と共に会の運営に携わってくださった、須金副理事長、榊原委員長、そして、ずっと横で支えて頂いた正木専務に最大限の感謝を申し上げ2020年度の理事長報告とさせていただきます。

2020年にさようなら 2020年にありがとう と声の限り伝えたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。

副理事長・専務理事・監事報告

2020年度 副理事長 須金 幹晴

新年あけましておめでとうございます。

2020年度副理事長という大役を仰せつかり、座間理事長を筆頭に会員拡大の年によく活動の歩を進めた矢先に、新型コロナウイルスと向き合う社会情勢となり、当初の予定とは全く異なった活動となってしまいました。事業はおろか集まる事さえも制限され本当に経験したことの無い1年間でありました。そんななかでも座間理事長の強いリーダーシップのもと、OBの諸先輩方のお力も借りながら手作りマスク配布、消毒液の寄付活動、他LOMの先陣を切る今できる限りのJC運動を展開しました。また委員会、事業運営においてはオンライン例会という初めての試みも行い、次代に繋がる事業展開ができたのではないかと思います。

本年もまだまだ混沌とする社会情勢の中ではありますが、会員一同一致団結し鴨川青年会議所活動の火を灯し続けて参ります。昨年一年間の御礼と共に本年も一層のご協力をお願い申し上げます。2020年度副理事長報告とさせていただきます。

2020年度 専務理事 正木 邦明

2020年度は座間理事長の下、専務理事を務めさせて頂きました。2020年度は新年総会後の新年会で一時ではありますがメンバー全員が揃い出席率100%となり、最高のスタートを切ることができたと思っていた矢先に新型コロナウイルスが蔓延し、鴨川だけでなく全国各地会員会議所においても事業の中止や延期に悩まされる一年間となりました。年度の前半は事業の中止が目立ち思う様に活動が行えず会員拡大もままならない状況でしたが、座間理事長の下、例会という形にこだわらず手作りマスクや消毒液の寄付を行いJCの灯を絶やすことなく活動を続けることができたと思います。また、例年通りとはいかない一年でしたが新しい取り組みも多くあった一年でした。Zoomを利用したweb会議、SNSを活用した事業の開催、全国大会や世界会議の動画配信などのインターネットを活用した事業が多くありました。これらの事業は今後のJC活動において必ず役に立つものだと思います。私は卒業となってしまいますが現役として残るメンバーの皆様にはこの一年間の経験を活かしてより良い未来を築いていただきたいと思います。13年間お世話になりました。ありがとうございました。

2020年度 監事 小原 正博

2020年は昨年に引き続き外部監事を務めさせて頂きました。

本年は昨年の台風や大雨の影響が残るところに、更に昨年末からのコロナ渦の影響で、青年会議所の活動に限らず多くの行事が中止や縮小に追い込まれました。そのような状況の中で、世の中の大きな変化に手探りながら必死に食らいついていこうとする、メンバーの活動を間近で見えてきました。

難しい状況の中で、協力しあって乗り越えていくメンバーの成長を感じた一年でした。監事としての役割を十分にはたせずご迷惑をおかけしましたが、皆様のおかげでなんとか役割を終えることができました。これからも青年会議所の活動を可能な限り支援していきたいと思います。一年間本当にありがとうございました。

2020年度 監事 菅原 明善

2020年度は座間理事長がリーダーシップの下、スローガン「We Believe」を掲げ一年間邁進してまいりました。しかし年初より新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、猛威を振るうことで私たちの歩みを止めてしまいました。今もまだ拡大し続けている状況です。委員長はじめ懸命に準備した例会も軒並み中止という残念な結果も多く、苦渋の決断をせざるを得なかった座間理事長においても大変な1年となりました。しかし出来る事すべき事を瞬時に精査し、原点へ気持ちをリセットする事で、青年会議所らしい地域の助けとなる活動ができたのも事実です。対内と向き合うことが多い年だったこともあり、メンバーの結束も強いものになったと感じております。今年度は鴨川JC設立以来、最も正会員が少ない状態でスタートします。だからと言って誰も諦めたわけではありません。会員減少という現実、立場は関係なく私にも今後も付帯し続ける問題と自覚し、一人でも多く入会しやすい環境作りに尽力したいと思います。そして何とか監事としての役目と、現役生活を無事に卒業することができました。多くの方にお世話になり本当にありがとうございました。

2020年度 監事 森谷 義眞

誰もが予想しなかったことが起きた2020年度。目に見えないものと戦いは、困難を極めました。こうした状況の中、テレワークやオンライン授業、インターネットを最大限に活用するという手法が急速に普及し、青年会議所活動においても例外ではなく、座間理事長の判断のもと、迅速に対応できたと思います。年度当初は収束を見越しての事業計画も立案されましたが、活動自粛の波は途絶えることがなく、委員会も苦勞が堪えなかったことと思います。しかしながら、4月以降、座間理事長の旗振りによって、「やりたいこと」から「できること」にシフトチェンジしたことは英断でした。方針が定まることで、これまでの青年会議所活動で培ってきた知識や経験が遺憾なく発揮され、新たな事業が構築できたと思います。偶然から手に入れた「変化への対応力」は、今後の活動に必ずや活かされるでしょう。更なるご活躍をお祈り申し上げます。私自身、2020年度をもって卒業となります。お世話になった方々に心より感謝申し上げます、監事報告とさせていただきます。

1. 組織

年頭会員 12名

新入会員 1名

1. 我如古 悠樹 君

2. 会議

第一回定時総会

日時：2020年1月9日（木）午後6時00分

会場：鴨川ホテル三日月

審議事項

第1号議案：2019年度委員会事業報告の件

第2号議案：2019年度決算（案）承認及び監査報告の件

第3号議案：2020年度年初決定事項（案）承認の件

第4号議案：2020年度事業方針承認の件

第5号議案：2020年度予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：全員一致で可決

第2号議案：全員一致で可決

第3号議案：全員一致で可決

第4号議案：全員一致で可決

第5号議案：全員一致で可決

第二回定時総会

日時：2020年9月15日（火）午後6時00分

会場：鴨川市文化体育館内会議室

審議事項

第1号議案：2020年度補正予算（案）承認の件

第2号議案：2021年度理事長予定者承認並びに選挙管理委員会経過報告の件

第3号議案：2021年度役員承認の件

決定事項

第1号議案：全員一致で可決

第2号議案：全員一致で可決

第3号議案：全員一致で可決

3. 理事会

第1回（定例）

日時：2020年1月4日（土）午後8時00分

会場：事務局

審議事項

第1号議案 2019年度 収支決算（案）・正味財産増減計算書（案）・貸借対表（案）承認の件

第2号議案 2020年度 収支予算（案）承認の件

第3号議案 2020年度 3月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案 2020年度 4月例会事業計画書（案）・予算（案）

第2回（定例）

日時：2020年2月7日（金）午後8時00分

会場：事務局

審議事項

第1号議案：4月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

第2号議案：11月例会事業計画書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：5月例会事業計画書（案）・予算（案）

第3回（定例）

日時：2020年3月6日（木）午後8時00分

会場：事務局

審議事項

第1号議案：新年総会事業報告書・決算（案）承認の件

第2号議案：新年会事業報告書 承認の件

第3号議案：5月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：6月例会事業計画書（案）・予算（案）

第4回（定例）

日時：2020年4月2日（木）午後8時00分

会場：事務局

審議事項

第1号議案：2月例会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

第2号議案：3月例会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

第3号議案：6月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第5回（定例）

日時：2020年5月7日（木）午後8時00分

会場：w e b

審議事項

第1号議案：4月例会事業報告書（案）・決算（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第6回（定例）

日時：2020年6月4日（木）午後8時00分

会場：w e b

審議事項

第1号議案：新入会員予定者 承認の件

第2号議案：新入会員 承認の件

第3号議案：諸規程（案）変更の件

第4号議案：選挙管理委員会発足の件

決定事項

- 第1号議案：原案通り承認
- 第2号議案：原案通り承認
- 第3号議案：原案通り承認
- 第4号議案：原案通り承認

協議事項

- 第1号議案：7月例会事業計画書（案）
- 第2号議案：8月例会事業計画書（案）・予算（案）
- 第3号議案：9月定時総会事業計画書（案）・予算（案）

第7回（定例）

日時：2020年7月2日（木）午後8時00分
会場：w e b

審議事項

- 第1号議案：5月例会事業報告書・決算（案）承認の件
- 第2号議案：7月例会事業計画書（案）承認の件
- 第3号議案：8月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件
- 第4号議案：9月定時総会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

- 第1号議案：原案通り承認
- 第2号議案：原案通り承認
- 第3号議案：原案通り承認
- 第4号議案：原案通り承認

第8回（定例）

日時：2020年8月6日（木）午後8時00分
会場：w e b

審議事項

- 第1号議案：6月例会事業報告書（案）・決算（案）承認の件
- 第2号議案：2021年度理事長予定者 承認の件

決定事項

- 第1号議案：原案通り承認
- 第2号議案：原案通り承認

協議事項

- 第1号議案：10月例会事業計画書（案）

第9回（定例）

日時：2020年9月1日（火）午後8時00分

会場：w e b

審議事項

第1号議案：7月例会事業報告書 承認の件

第2号議案：10月例会事業計画書（案）承認の件

第3号議案：2020年度補正予算（案）承認の件

第4号議案：2021年度役員（案）承認の件

第5号議案：2021年度組織図（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

第4号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：11月例会事業計画書（案）

第2号議案：2021年度理事長所信（案）

第10回（定例）

日時：2020年10月6日（火）午後8時00分

会場：w e b

審議事項

第1号議案：11月例会事業計画書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：12月例会事業計画書（案）・予算（案）

第2号議案：2021年度理事長所信（案）

第11回（定例）

日時：2020年11月10日（火）午後8時00分

会場：w e b

審議事項

第1号議案：8月例会事業報告書・決算（案）承認の件

第2号議案：9月総会事業報告書・決算（案）承認の件

第3号議案：12月例会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

- 第4号議案：2020年度褒賞委員会発足の件
- 第5号議案：2021年度理事長所信（案）承認の件
- 第6号議案：2021年度組織図（案）変更の件

決定事項

- 第1号議案：原案通り承認
- 第2号議案：原案通り承認
- 第3号議案：原案通り承認
- 第4号議案：原案通り承認
- 第5号議案：原案通り承認
- 第6号議案：原案通り承認

協議事項

- 第1号議案：2021年度年初決定事項（案）
- 第2号議案：2021年度収支予算（案）
- 第3号議案：2021年度委員会年間事業計画書（案）
- 第4号議案：2021年度新年総会事業計画書（案）・予算（案）
- 第5号議案：2021年度新年会事業計画書（案）
- 第6号議案：2021年度2月例会事業計画書（案）・予算（案）

第12回（定例）

日時：2020年12月1日（火）午後8時00分
会場：w e b

審議事項

- 第1号議案：2020年度10月例会事業報告書 承認の件
- 第2号議案：2021年度年初決定事項（案）承認の件
- 第3号議案：2021年度新年総会事業計画書（案）・予算（案）承認の件

決定事項

- 第1号議案：原案通り承認
- 第2号議案：原案通り承認
- 第3号議案：原案通り承認

協議事項

- 第1号議案：2020年度委員会年間事業報告「運営委員会」「地域創生委員会」
- 第2号議案：2021年度収支予算（案）

第13回（臨時）

日時：2020年12月16日（水）午後8時00分
会場：w e b

審議事項

第1号議案：2021年度組織図（案）変更の件

第2号議案：2021年度会員拡大特別委員会年間事業計画書（案）承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：2021年度2月例会事業計画書（案）・予算（案）

第2号議案：2021年度3月例会事業計画書（案）・予算（案）

第14回（臨時）

日時：2020年12月21日（月）午後8時00分

会場：w e b

審議事項

第1号議案：2020年度11月例会事業報告書 承認の件

第2号議案：2020年度12月例会事業報告書・決算（案）承認の件

第3号議案：2020年度委員会年間事業報告「運営委員会」「地域創生委員会」承認の件

決定事項

第1号議案：原案通り承認

第2号議案：原案通り承認

第3号議案：原案通り承認

協議事項

第1号議案：2020年度収支決算（案） 正味財産増減計算書

4. 例会

例会・セミナー

- 1月 運営委員会 定時総会・新年会
- 7月 地域創生委員会 経済人育成座談会～社会保障の仕組みと問題提起～
- 8月 地域創生委員会 W i t h コロナ川柳 ～改めて気づいた大切なもの～
- 9月 運営委員会 定時総会
- 10月 地域創生委員会 思い出と感謝とともに ～事務局大掃除大作戦～
- 11月 地域創生委員会 経済人座談会～組織とは、JCとは～
- 12月 運営委員会 おつかれさま2020 来年もよろしく

5. 委員会報告

運営委員会

委員長 正木邦明

副委員長 小越友

委員 四井大介 (森谷義眞)

◎本年度事業方針

現在、(一社)鴨川青年会議所は正会員数13名という状況にあり、会員拡大が急務となっています。卒業生の人数よりも入会者数が少なく拡大がうまくいっていないという事実と共に、近年では途中退会する者も増加している傾向にあります。入会しても出席をしない、退会してしまうという問題も抱えており個人的な事情や会社の都合があったとしても、その原因の多くは組織の魅力が十分に伝えきれていないことだと考えます。

綱領に明るい豊かな社会を築き上げようとしています。本年度の運営委員会では綱領に倣い明るい豊かな組織運営を目指します。会員拡大のために我々の活動の魅力を外部に伝えるには、我々自身が楽しんで活動している姿を示さなければなりません。そのために価値観の違う人間の集まりの中でも会員それぞれが楽しんで活動できる環境づくりに励み、笑いあえる仲間を増やすために会員交流事業を行います。また、会歴の浅い会員や新入会員に向けて、青年会議所活動の内容や魅力をより理解してもらうために会員研修にも取り組み、会員相互の理解や信頼、友情を築き上げます。

そして、総務として例年通り1月及び9月総会の円滑な運営を行うと同時に各種会議が滞りなく運営できるように設営を行います。また、(公社)日本青年会議所が主催する事業並びに千葉ブロック協議会内の各種事業などの設営を行い、活動の基盤を支えていきます。

あらゆる組織において宝となるものはそこに所属している人間だと考えます。それぞれ考え方は違っていても同じ目標を目指していく仲間には信頼関係が重要になります。信頼関係が築けずにそのまま終わってしまうことは双方にとって大きな損失となりえるため、お互いに切磋琢磨し、喜びを分かち合い、一生涯続く友情に繋がる信頼関係を築けるように、会員同士の絆を深め、その輪に多くの仲間が増えるように活動していきます。

◎本年度事業計画

1. 会員拡大率50%
2. 1月・9月定時総会の開催
3. 新年会・9月定時総会懇親会の開催
4. 4月例会の開催

5. 6月例会の開催
6. 12月例会の開催
7. 理事会の設営
8. 委員長会議の設営
9. 事務局の管理
10. 定款諸規程の精査
11. WEBサイトの整理及び管理・運営
12. LDアワーの実施
13. ニコニコBOXの実施
14. 千葉ブロック協議会内（ブロック及び各地会員会議所）事業の窓口
15. 京都会議の窓口及び設営
16. サマーコンファレンスの窓口
17. （公社）日本青年会議所第67回全国大会の窓口及び設営
18. 地域関連事業への協力

◎各事業の経過報告

1. 本年度の新入会員は、我如古悠樹君の1名の入会となりました。目標は50%の会員拡大でしたが、コロナ禍により予定していた会員拡大例会等を開催することができず、目標の達成には至りませんでした。
2. 2020年1月9日（木）鴨川ホテル三日月にて、「2020年度1月定時総会」を開催しました。スポンサーJCである（一社）勝浦いすみ青年会議所からの5名をはじめ、来賓12名、千葉ブロック協議会役員3名を迎え、OBシニアクラブ13名の先輩方とともに活動への理解を深めていただき新年をスタートすることができました。
総勢 45名（正会員 12名中 11名出席 出席率 91.7%）

2020年9月15日（火）鴨川市総合運動場文化体育館にて「2020年度9月定時総会」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小しての開催となりましたが、2020年度の新理事長をはじめとする新体制をOBシニアクラブに披露することができ、次年度へのスタートを切ることができました。
総勢 19名（正会員 13名中 10名出席 出席率 76.9%）
3. 2020年1月9日（木）鴨川ホテル三日月にて、1月定時総会終了後、「2020年度新年会 We Believe」を開催しました。本例会は出席率100パーセントとなり、新体制のスタートとして、十分にご来賓の方々や先輩方にアピールすることができました。

総勢 43名（正会員 12名中 12名出席 出席率 100%）

9月定時総会懇親会におきましては新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送らせていただきました。

4. 2020年4月21日（火）に4月例会「異業種交流会 JCへの扉」を会員拡大へと繋げるために企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を募り飲食を伴う事業は控えるべきとの判断により中止となりました。
5. 2020年6月16日（火）に6月例会「鴨川JCボウリングナイト」を4月例会同様に会員拡大のために企画しておりましたが、状況が改善されなかったため中止となりました。
6. 2020年12月8日（火）に12月例会「おつかれさま2020 来年もよろしく」を開催しました。2020年度最後の例会として感謝と慰労、次年度へ向けての親睦を深めることができました。

総勢 11名（正会員 13名中 10名出席 出席率 76.9%）

7. 理事会の設営については電磁的方法を用い招集案内を行い、定款諸規定に基づき行っておりましたが、5月より新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため（公社）日本青年会議所のガイドラインに従いWEB会議という形をとりました。
8. 委員長会議の設営については、対象者が正副理事長会議に参加しているため、招集は行いませんでした。
9. 事務局使用にあたって、事務局の鍵の管理及び必要不足備品の管理に努めました。また、10月例会「思い出と感謝とともに ～事務局大掃除大作戦～」にて、事務局移転のための備品整理を行いました。
10. 定款諸規定の精査については、6月理事会において諸規程を一部変更いたしました。
11. WEBサイトの整理、管理及び運営については、四井事務局長により例会案内やマスクの作り方の掲載など適切に管理運営が行われました。
12. LDアワーは各例会にて適切に実施致しました。

13. ニコニコBOXは例会開催時に該当者の紹介を行いました。
14. 千葉ブロック協議会内事業の窓口については、本年度は中止や延期などの変更が多くありましたが適切に実施致しました。
15. 2020年1月18日(土)19日(日)に行われた京都会議の窓口及び設営を行い、座間理事長、正木の2名が参加致しました。
16. サマーコンファレンスについては、コロナ禍の影響により延期となり世界会議と同時に行われたWEB会議への参加となりました。
17. (公社)日本青年会議所第67回全国大会においても上記同様にWEBでの参加となりました。
18. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校教育課を通し鴨川市内の学童に手作りマスク1800枚と消毒液40リットルの寄付を行った。

◎本年度事業に対する反省

本年度運営委員会では総会の開催、会員拡大に繋げる例会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により思う様に活動することができませんでした。本来であれば2月から4月、6月と会員拡大の例会を行う予定が6月までの例会が全て中止となってしまう大変悔しく思います。

4月例会では2月から続く研修事業にご参加いただいた候補者を入会に結びつけるため、異業種交流会という形で親睦を深める場を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため飲食を伴う会合が行えずやむなく中止となってしまいました。同様に6月例会でも会員拡大に繋げる例会を企画しておりましたが、コロナ禍の状況が改善せず中止となりました。どちらも小越副委員長が企画立案した初の例会開催を目指しておりましたが実現せず残念に思います。

会の運営として、総会につきましては1月の新年会で出席率100パーセント例会の達成、9月では規模を縮小しての開催となりましたが滞りなく行えました。また、理事会ではコロナ禍により5月からZoomを利用したweb会議を取り入れました。新たな取り組みでしたが問題なく行うことができ、今後様々な場面で応用できるため良い経験になりました。

本年度はコロナ禍により思う様に活動はできませんでしたが、手作りマスクや消毒液の寄付、webを利用した会議や研修といった事業の在り方を考える機会が多くありました。今後は人を集めるだけが事業ではなく、人を集めずとも行える事業を企画出来る様に柔軟

な考え方を持って活動できるものと思います。いろいろなことがあった一年間でしたが無事に終えることができましたのもメンバーの皆様のご協力があったからこそだと思います。一年間ありがとうございました。～We Believe～

地域創生委員会

委員長 榊原 寧

副委員長 佐藤和幸 福原基暢

委員 伊勢拓郎 豊田奨 (菅原明善)

◎本年度事業方針

昨年度は平成から令和に代わり、新たな時代の幕開けとなりました。(一社) 鴨川青年会議所も半世紀の歴史を超え、時代と共に新たな局面を迎えています。明るい豊かな鴨川の実現のために私たちに何ができるのかを考えていかなければなりません。今年度、当委員会として「対内活性化」、「地域活性化」、「青少年育成」に重点を置き活動していきます。

まず活動する上で、各会員の意欲向上が必要不可欠になります。親睦を深める事業や委員会での会議を通して会員相互の信頼関係を構築し、個々の意識や意欲向上に繋がります。また、運営側としては、各会員の負担を増やすのではなく、常に最良の形を模索し、コミュニケーションの取りやすい環境を設け、委員会全体として活性化することを目指します。

鴨川は毎年様々な催しを行っています。(一社) 鴨川青年会議所も他団体と共に尽力してきましたが、今年度の夏季の催しは様々な制限や変則的な開催が予想されます。これまで以上に鴨川市の行政や他団体との協力体制を強靱なものにし、鴨川のためにさらに尽力いたします。また、今年度は関東地区千葉ブロック大会が東金で行われます。ブロック大会は持続可能な地域をテーマに開催され、(一社) 鴨川青年会議所として全会員で協力していきます。青少年育成では、現在、子供たちや若者への教育の難しさが問われ、若者たちの将来の選択肢も多様化しています。子供たちや若者自身の意志を強くすることが重要だと考え、その内容を主体にした体験の機会を設け、参加者個人の糧となるものを目指します。

これら重点事項を基に事業を行うことで、鴨川への想いを再認識することができ、明るい豊かな鴨川の実現のためという想いを同じくする同志も増え、地域がより活性化するものと考えています。また、(一社) 鴨川青年会議所として地域に貢献し続けるために年間を通して会員拡大にも力をいれ、新たな会員と共に、地域から魅力のある青年会議所となるように活動して参ります。

◎本年度事業計画

1. 会員拡大率50%

2. 2月例会の開催
3. 3月例会の開催
4. 5月例会の開催
5. 7月例会の開催
6. 8月例会の開催
7. 10月例会の開催
8. 11月例会の開催
9. 菜畑ロードへの協力
10. 棚田の夜祭りへの協力
11. 市民音楽祭への協力
12. まるごみ運動への協力
13. 防犯パトロールへの協力
14. ボーイスカウトへの協力
15. 鴨川市花火大会への協力
16. 災害ボランティア会議への協力
17. 地域関連事業への協力

◎各事業の経過報告

1. 本年度の新入会員は、我如古悠樹君の1名の入会となりました。目標は50%の会員拡大でしたが、コロナ禍により予定していた会員拡大例会等を開催することができず、目標の達成には至りませんでした。
2. 2020年2月29日（土）に2月例会「経済人育成座談会～社会保障の仕組みと問題提起～」を開催する予定で広報活動も行っていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の自粛要請を受け、中止とさせていただきました。
保険外交員より日本の社会情勢を踏まえた社会保障や年金などの問題について講義を受け、経済人としての教養を高める例会の予定でした。
3. 2020年3月14日（土）に3月例会「経済人育成座談会～政治、行政、人を動かす立ち振る舞い～」を開催する予定でしたが、2月例会と同様に中止の判断を致しました。
現職の千葉県県議会議員を招いてビジネスマナーを体験的に行い、市議会議員も交えて政治の動きについて講義を行う予定でした。
4. 2020年5月31日（日）に5月例会「公益社団法人日本青年会議所 関東地区千葉ブロック協議会会長公式訪問例会 繋ぐ ～特攻隊員に託された日本の未来～」を開

催する予定でしたが、4月までの自肅要請に加え、緊急事態宣言が発令されたため中止と致しました。

特定非営利活動法人 知覧特攻の母鳥濱トメ顕彰会 顧問 赤羽潤氏を講師にお迎えし、特攻の現実から学ぶ講演会を行う予定でした。

5. 2020年7月14日(火)に7月例会「経済人育成座談会～社会保障の仕組みと問題提起～」を開催しました。自肅要請が続いているなかで2月に中止した内容をオンライン会議システムのZoomを利用して開催しました。初めてオンライン上で例会を行いました。進行に大きな支障もなく、社会情勢や今後日本が抱える問題について学びました。

総勢 10名 (正会員 13名中 10名出席 出席率 76.9%)

6. 2020年8月31日(月)に8月例会「With コロナ川柳 ～改めて気づいた大切なもの～」を開催しました。鴨川市及び近隣住民を対象に自肅要請にまつわる川柳を募集し、109作品の中からメンバーにて厳選な抽選を行い、優秀選3作品、理事長特別賞1作品を例会にて決定致しました。4作品は各種広報誌へ掲載し、優秀選3作品については色紙を製作し贈呈しました。

総勢 72名 (正会員 13名中 9名出席 出席率 69.2%)

7. 2020年10月31日(月)に10月例会「思い出と感謝とともに ～事務局大掃除大作戦～」を開催しました。事務局移転に伴って備品等の整理を行い、鴨川青年会議所の歴史を再確認致しました。

総勢 10名 (正会員 13名中 10名出席 出席率 76.9%)

8. 11月例会として「街コン2020」を開催予定でしたが新型コロナウイルスの拡大状況を考慮し中止と致しました。

2020年11月17日(火)に11月例会「経済人座談会～組織とは、JCとは～」を開催しました。11月例会もオンライン会議を利用し、会員拡大に向けて今後の新入会員候補者に説明できるように組織やJCについて改めて学び、再認識しました。

総勢 11名 (正会員 13名中 10名出席 出席率 76.9%)

9. 2020年2月16日(日)に菜畑ロードの交通整理などに5名参加しました。

10. 棚田の夜祭りは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

- 1 1. 市民音楽祭は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。
- 1 2. まるごみ運動は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。
- 1 3. 8月7日(金)の防犯パトロールに座間斉理事長が参加しました。別日の防犯パトロールは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。
- 1 4. ボーイスカウトの活動に四井大介事務局長会計が参加しました。
- 1 5. 鴨川市花火大会は新型コロナウイルスの影響で縮小しての開催となり協力要請がありませんでした。
- 1 6. 災害ボランティア会議の開催はありませんでした。
- 1 7. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校教育課を通し鴨川市内の学童に手作りマスク1800枚と消毒液40リットルの寄付を行った。

◎本年度事業に対する反省

地域創生委員会では、平成から令和に代わり、(一社)鴨川青年会議所も新たな局面を迎えているなかで、「対内活性化」、「地域活性化」、「青少年育成」に重点を置き、活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で多くの例会が中止となりました。

本年度、委員会として最初に取り組んだのが2月例会「経済人育成座談会～社会保障の仕組みと問題提起～」でした。対内活性化を目的とし、各会員の経済人としての教養を高め、会員相互の交流を深めるための経済人育成座談会を通年で開催していく予定でしたが、最初の2月例会で中止を余儀なくされました。

また、地域活性化及び青少年育成を目的とした5月例会の特攻隊の現実から学ぶ講演会も中止となり、関東地区千葉ブロック大会へは全会員が出向の予定でしたがオンラインでの開催に変更されました。その他多くの地域事業が縮小及び中止となりました。

コロナ禍の状況のなかで委員会として何ができるかを考え、初めての試みであるオンラインや応募型の例会に挑戦していきました。7月と11月にオンライン上での研修例会を行いました。委員会内でリハーサルを重ねた結果、大きな問題もなく無事に終わることが出来ました。8月には、Withコロナ川柳を募集し、例会当日に優秀選を選出するという形を取りました。募集条件の説明不足で一部の応募者から問い合わせなどがありましたが、10歳未満から99歳までの総勢63名から109作品の応募がありました。チラシの他、SNSでも広報を行ったため、市外からの応募も多く、目標の60作品を超えることが出来ました。

当初は、(一社)鴨川青年会議所としての新たな局面に対する模索をしていく年だと考えていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、オンラインや募集型といった新たな手法に挑戦し、無事に成功させることができました。今後の例会の選択肢が増え、例会の幅を広げることができたと思います。

例会事業は一定の成果をあげられたものの、会員拡大は我如古悠樹君の1名の入会にとどまり、目標には至らず、成果を出すことが出来ませんでした。会員の皆様に協力を頂き、例会案内と共に拡大広報を行いました。入会に繋げることが出来ませんでした。次年度は個人的なアプローチを多くしていく必要があると考えます。

最後になりますが、会歴の浅い私が委員長として一年間活動を行えたのは座間斉理事長をはじめ多くの方の協力をいただき、支えていただいたからだと感じております。改めて皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも皆様と共に信じ合い、共に活動していきたいと思っております。一年間ありがとうございました。～We Believe～

6. 収支決算報告書

収入決算明細書				
2020年1月1日から2020年12月31日まで				
会計:一般会計				
事業区分A:本会計				
				(単位: 円)
科目	摘要	予算額	決算額	差異
110 入会金収入		90,000	15,000	▲ 75,000
100 入会金収入	新入会員3名×15,000	90,000	15,000	▲ 75,000
120 会費収入		1,950,000	1,950,000	0
100 正会員会費収入		1,440,000	1,440,000	0
100 年会費収入	正会員12名×120,000	1,440,000	1,440,000	0
110 その他会費収入	新入会員3名 初年度は0	0	0	0
110 特別会員会費収入	シニアクラブ	300,000	300,000	0
120 賛助会員会費収入	賛助会員21名×10,000	210,000	210,000	0
130 事業収入		181,000	167,292	▲ 13,708
150 預り金収入	来賓8名×7,000 他	140,000	107,100	▲ 32,900
110 その他雑収入	来賓8名×2,000他	41,000	60,192	19,192
160 雑収入		1,000	13	▲ 987
100 受取利息収入	郵便局・銀行利息	1,000	13	▲ 987
002 前期繰越収支差額		3,103,852	3,103,852	0
合計		5,325,852	5,236,157	▲ 89,695

経費決算明細書				
2020年1月1日から2020年12月31日まで				
会計:一般会計				
事業区分A:本会計				
				(単位:円)
科目	摘要	予算額	決算額	差異
600 事業費支出		1,881,000	667,947	▲ 1,213,053
100 事業費支出		1,801,000	497,447	▲ 1,303,553
120 本部関係費支出		288,000	35,000	▲ 253,000
300 旅費交通費支出	会員会議所会議 他LOM新年会・周年他	50,000	0	▲ 50,000
900 渉外費支出	全国大会 京都会議他	35,000	35,000	0
150 資料作成費支出		80,000	55,440	▲ 24,560
500 資料費支出	総会資料	80,000	55,440	▲ 24,560
180 渉外費支出		478,000	176,989	▲ 301,011
910 役員渉外費支出	会員会議所会議登録料 他LOM新年会・周年他	478,000	176,989	▲ 301,011
930 記念品代支出	理事長記念品	0	0	0
190 旅費交通費支出		200,000	59,470	▲ 140,530
320 交通費支出	ブロック出向者 ブロック・他LOM事業参加費	200,000	59,470	▲ 140,530
230 寄付金支出	ボーイスカウト 国際交流協会	40,000	40,000	0
250 預り金支出		140,000	0	▲ 140,000
260 総務共創委員会事業費支出		120,000	75,752	▲ 44,248
270 地域共創委員会事業費支出		455,000	54,796	▲ 400,204
120 事業予備費支出	事業予備費	80,000	170,500	90,500
610 管理費支出		1,189,630	1,577,384	387,754
100 会議費支出	総会	0	0	0
140 通信・発送費支出	電話 FAX 切手代	352,000	340,569	▲ 11,431
150 消耗品費支出	事務用品 コピー用紙	75,000	38,728	▲ 36,272
160 会員支給品費支出	日本JC共済会 ネームプレート 他	139,900	146,483	6,583
170 リース料支出		0	0	0
200 光熱水料費支出		47,000	37,864	▲ 9,136
210 貸借料支出	事務局家賃30,000×12ヶ月	480,000	360,000	▲ 120,000
220 業務委託支出	役員登記料等	28,530	28,530	0
260 渉外費支出	慶弔費	50,000	20,000	▲ 30,000
270 雑支出	銀行振込手数料他	17,200	605,210	588,010
620 負担金支出		269,244	269,244	0
100 JCI負担金支出	正会員12名×1,612他	19,344	19,344	0
110 日本JC負担金支出	正会員12名×5,000+30,000他	90,000	90,000	0
120 地区協議会負担金支出	正会員12名×1000+10,000他	22,000	22,000	0
130 ブロック協議会負担金支出	正会員12名×5,000+20,000他	80,000	80,000	0
140 国際協力資金支出	正会員12名×5×365日他	21,900	21,900	0
160 WeBelieve購読料支出	正会員12名×3,000他	36,000	36,000	0
630 他会計への繰入金支出		0	0	0
110 特別会計への繰入金支出		0	0	0
001 予備費支出		1,985,978	2,721,582	735,604
	合計	5,325,852	5,236,157	▲ 89,695

事務局準備金明細書

(単位:円)

	前年度残高	本年度繰入額	本年度取崩額	受取利子	残高
事務局準備金	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

周年準備金明細書

(単位:円)

	前年度残高	本年度繰入額	本年度取崩額	受取利子	残高
周年準備金	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

固定資産明細書

(単位:円)

	購入金額	購入年度	償却期間	前年度評価額	本年度償却額	評価額
アンプー式	181,230	2007年	5年	1	0	1
プロジェクター	215,000	2006年	5年	1	0	1
合計	396,230			2	0	2

貸借対照表

(単位:円)

科 目	金 額	
1. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	2,721,582	
流動資産合計		2,721,582
2. 固定資産		
什器備品	2	
電話加入権	50,000	
固定資産合計		50,002
資産合計		2,771,584
2. 負債の部		
負債合計		0
3. 正味財産の部		
正味財産		2,771,584
(内当期正味財産増減額)		
負債及び正味財産合計		2,771,584

財産目録

(単位:円)

科 目	金	種
1. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
① 現金 現金手有許高	961,809	
② 普通預金		
千葉銀行鴨川支店 No.1054108	282,669	
京葉銀行鴨川支店 No.2287173	470,656	
千葉興業銀行鴨川支店 No.2749251	326,146	
③ 郵便預金		
(a) 郵便局 No.10520-65532951	492,872	
(b) 郵便局 No.10580-35932871	187,430	
流動資産合計		2,721,582
2. 固定資産		
什器備品 プロジェクター	2	
電話加入権	50,000	
固定資産合計		50,002
資産合計		2,771,584
2. 負債の部		
負債合計		0
正味財産		2,771,584

監査報告書

自 2020年1月1日
至 2020年12月31日

2020年12月31日、一般社団法人鴨川青年会議所事務局に於いて小原正博、菅原明善、森谷義真監事は、2020年度の収支決算書、事業報告書、財産目録等関係書類を詳細に監査した結果、その内容が適正で誤りの無かった事をご報告申し上げます。

2020年度監事 小原正博

菅原明善

森谷義真



正味財産増減計算書			
(2020年12月31日現在)			
			単位:円
科目	金額	金額	金額
(増加の部)			
1	資産増加額		
	什器備品	0	
	準備金	0	
	当期収支差額	0	
	増加額合計	0	
(減少の部)			
2	資産減少額		
	当期収支差額		-382,270
	固定資産除却額		0
	準備金		0
	電話加入権		0
3	負債増加額		0
	減少額合計		-382,270
	当期正味財産増加額		0
	当期正味財産減少額		-382,270
	前期繰越正味財産額		3,103,852
	期末正味財産合計額		2,721,582

2021年度 理事長所信

理事長 小越 友

《スローガン》

鎌輪奴ーかまわぬー

基本理念

器を大きく構え『鎌輪奴ーかまわぬー』と言えるよう様に自分を信じ、青年会議所、自身自身に誇りをもって活動を行う。

基本方針

会員拡大

後世に繋ぐ覚悟

はじめに

今回、スローガンに上げた『鎌輪奴』ですが、江戸時代に流行した今でいう絵文字です。どの時代でもユーモアのある人物はいます。歌舞伎役者の七代目團十郎は、舞台の練習の際に、この模様の入った浴衣を着ていました。彼は自分を信じ、周りを認めさせるために、誰よりも努力をしたと伝えられています。『鎌輪奴』の意味は、受け取り方は人それぞれですが、「人に何を言われても構わぬ、自分は自分の道を行く」という意味があります。

私は鮎屋をしております。自分が鮎屋を親方から引き継ぎ、花板として立たせてもらった時に『鎌輪奴』という言葉が一番の励みになる言葉でした。鮎屋の花板が変わるという事は、とても大きなプレッシャーでした。今まで来ていただいていたお客様に納得していただくには、新たな発想、店の看板に恥じぬことのない立ち振る舞い、様々な事を覚悟して臨まなければなりません。勿論、今まで花板を務めていた親方の鮎歴50年には到底及びませんが、培ってきた経験を活かして自分を信じて進まなくてはならないと、心に『鎌輪奴』の思いで、常に挑み続けました。

この度、理事長という役職を引き継ぐにあたり、店を引き継いだ頃と同じような気持ちになります。会の存続、会員の減少、活動費の減少。一人が背負う業務の増加も深刻です。他団体への事業の参加、千葉ブロック協議会事業参加など、今まで通りにならないことが多くなってしまったのが実情です。時代、地域に根ざしこの状況を変えていかなければ、会を継続していくのは不可能です。活動を後世に繋ぐという強い覚悟を持ち、会員拡大に臨んでいきます。

私は高望みをせず、一年間地域に根ざした活動をしていこうと考えています。『鎌輪奴』を考えた人のようにユーモアにあふれ、今まで以上に親しみや楽しみがある J C を目指します。J C は様々な職業の集まりであり、一人ひとり色々な考えの人がいて、色々な意見を持っています。時には活発な議論を展開することもあります。今のメンバーは苦楽を共にし、信頼でき、頼りになる仲間です。少ない人数ながらも皆で一致団結し、ぶれずに自分たちを信じ、『鎌輪奴』と言いながら、最後に大笑いできる一年にします。

会員拡大

鴨川青年会議所は、昨年度解散という発想が生まれるほどまでに、運営に支障をきたす会員不足に陥りました。今の人数だけでは、活動にも限界があり、活動自体を充実させるためには多くの仲間が必要不可欠です。誰がいけない、何がいけないのではなく、何をすれば、どうしたらより良くなるかを皆で考え会員拡大に取り組み、新たな考えを取り入れて会員拡大に臨みます。本年度の活動は会員拡大を主として、出来る限り J C の魅力や活動を伝える場をつくり、昨年度からと同様に新入会員の初年度の年会費を無料とし、新入会員の間口を広げ賛同してくれる仲間を募ります。J C 活動をするうえで制限があるとすれば、20歳から40歳までという年齢制限があるだけです。まずはきっかけとなる候補者を募るための例会を行い、情報を得てから回を重ねて事業に参加していただきます。活動に参加する、事業を作り上げる意義、魅力を伝えていきます。

また、J C の会員拡大は、人の紹介で入ってくるのが大半です。候補者を知りえた際には、紹介者と共に訪問し会員拡大に繋げていきます。

鴨川青年会議所は、本年で53年目を迎え創立55周年へ向け間口を広げた新たな発想の会員拡大方法を計画し、計画に沿って確実に実行して行く様に進めてまいります。さらに、会員同士のコミュニケーションや情報共有をする時間を多く作り、強い覚悟を持って、同じ方向に向かって各個人の能力を発揮する事により、大きな効果となるものだと考えます。鴨川青年会議所全員で一致団結して、会員拡大に臨んでいきます。

後世に繋ぐ覚悟

2020年、今までに経験したことのない非常事態が起きました。目に見えないものとの闘い、世界すべてを巻き込んだ新型コロナウイルス。J C 活動の縮小も余儀なくされ、人と人との接触を避けた活動、会議、例会となり、53年間行われたこれまでの J C 活動とは違い、新たな発想や技術、手法を用いた活動になりました。未だ新型コロナウイルスの影響があるなかで、私たちは、鴨川の未来を考え行動しなければなりません。

そのためには、まずはじめに自分たちが楽しみ、笑顔でいられることではないかと思えます。自分自身が楽しめない事を周りの人が楽しいでしょうか。自分自身が笑顔でいられないのに周りの人が笑顔でいられるでしょうか。こんな時だからこそ、まず自分たちが楽しみ笑顔でいられることが、これから先の鴨川青年会議所、55周年に繋がる第一歩と考えます。

「楽しむ」と「楽」は違います。仕事も「楽しむ」ためには、とてつもない苦労や時間をかけ、努力を積み重ねてこそそのものです。反対に「楽」をしたいなら、何も言わず様々な事を遠ざけて、自分だけが楽をすればいいのです。しかし、それでは人に何も与えられず、自分だけの自己満足だけで何も得られず、何も残らないでしょう。一年間自分たちが楽しみ笑顔で居続け、それを周りに伝える。苦労や時間を共有し、こんな時だからこそ、『鎌輪奴』と言いながら、自分を信じ、皆で新たなJ Cのスタイルを築きながら、55周年へと引き継いでいきます。

結びに

2012年、私が入会した当時は、鴨川青年会議所は正会員が30人を超える団体でしたが、2021年度スタート時の現役メンバーは6人となってしまいました。今までのような活動は非常に難しく、人員、予算、共に、活動をする限界に達しています。青年会議所活動は個人の時間だけでなく仕事の時間や睡眠時間等を削って行われてはいないでしょうか。本年は、個人の負担をできるだけ軽減し、鴨川市内の事業に集中し、個人にかかる時間の軽減と効率化を図ります。今回現役メンバーが6人ともなりますと、事業予算がとても厳しくなりますが、そんななかでも色々な事を軽減、削減しつつも新しい発想と工夫を凝らし事業を展開します。我々は、一人ひとり生まれた場所も違ければ、育った環境も違います。考え方や性格が違うのは、当たり前のことです。気持ちを一つにするには、コミュニケーションと繋がり、強い意志をもって現状を打破していきます。

私には、少数ながらも頼れる仲間がいます。ともにJ Cの活動を通じ、多くの時間を共有してきました。そんな仲間が支えてくれる2021年度のJ Cは、少数精鋭、一致団結により、強い結束と意志を貫き、現状打破し、2022年に引き継いでいきます。明るい豊かな社会の実現に向け、新たな仲間を迎え入れながら、一年後の自分達が今まで以上に笑顔で自信と誇りを持てるよう、同志と歩んでいきます。最後には『かまわぬ!!』と大笑いできる一年とすべく邁進いたします。

2021年度委員会事業方針・事業計画

会員拡大特別委員会

会員拡大特別委員会 委員長 須金幹晴

2020年鴨川青年会議所は2つの危機に直面しました。コロナ禍による活動の自粛と会員減少による鴨川青年会議所存続の危機です。前者は、予測する事もできないものでしたが、オンラインによって活動を継続することができました。しかし、会員減少は予測することが可能でした。私が入会した当時の会員数は45名を超えていましたが、2013年には、若い会員が入会しなければ、2018年には約10名になることが既に試算されていました。

なぜ予測できた危機を回避できなかったのか。私は、2つの課題があったと思います。1つ目は鴨川市内在住の若者の減少が想定を超えていたこと。特に会員の主となる、鴨川市内の事業継承者の減少は想像以上で、会員拡大の行く当てがない。あるいは既に何度も断られている。こうしたジレンマが続いている現状です。2つ目は組織の課題です。青年会議所の特徴として、多種多様な職種の会員が混在し、活動も多岐に渡って行っています。当然、就業時間や休日も異なり、都合をつけられる者、そうではない者の両者がいます。会員の減少に伴い、両者はお互いに今まで以上にJC活動に取り組みなければならなくなりました。当然それは会員各々の負担となり、不満やモチベーションの低下を生んでしまいます。

2021年度は正会員6名。その内3名が出向での参加となり、組織の維持すら危うい状況です。この先、鴨川青年会議所を存続させるには、若者の減少と組織の課題を解消することが急務となります。それには、若者なら誰でも入会できる広い間口と受け入れた人材の負担にならない環境整備が必要です。そして、誰でも理事長になれる環境を整えなければ、鴨川青年会議所の存続は不可能であると考えています。

これらのヒントは、コロナ禍で行った活動にありました。簡略化やオンラインで行った、理事会や例会、委員会などです。若者らしい新たな技術の導入や、負担の軽減化によって新たな時代の青年会議所活動を模索しなければならないと思います。組織の環境整備を進め、興味関心の高い例会を行い、参加者の入会を促します。参加者には、JC活動の意義や魅力を幅広く伝え、年間を通じてアプローチを行い、会員拡大を推進します。

[事業計画]

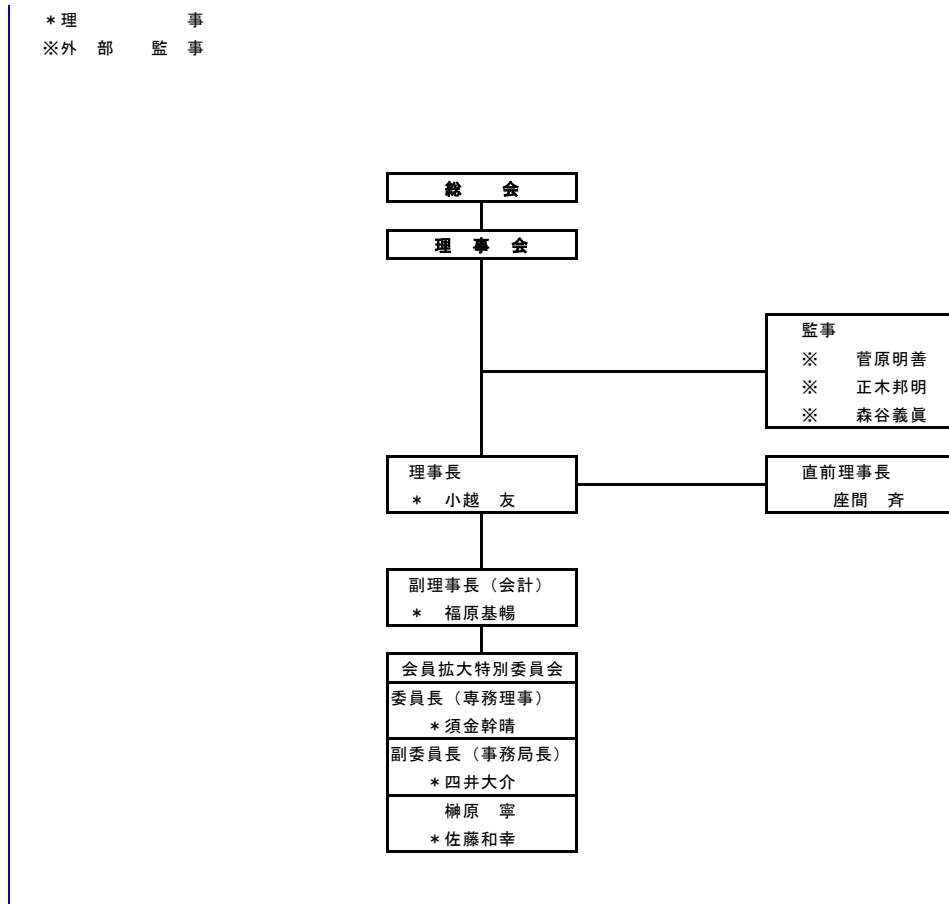
1. 会員拡大5名実現
2. 例会の開催
3. 地域関連事業（ほこてん・花火大会など）への協力

収支予算

収入予算明細書			
2021年1月1日から2021年12月31日まで			
会計: 一般会計			
事業区分A: 本会計			
			(単位: 円)
科目	摘要	金額	
110 入会金収入		75,000	
100 入会金収入	新入会員5名×15,000	75,000	
120 会費収入		1,060,000	
100 正会員会費収入		760,000	
100 年会費収入	正会員6名×120,000	760,000	
110 その他会費収入	新入会員5名 初年度は0	0	
110 特別会員会費収入	シニアクラブ	300,000	
120 賛助会員会費収入		0	
130 事業収入		0	
150 預り金収入		0	
110 その他雑収入		0	
160 雑収入		20	
100 受取利息収入	郵便局・銀行利息	20	
002 前期繰越収支差額		2,721,582	
合計		3,856,602	

経費予算明細書			
2021年1月1日から2021年12月31日まで			
会計: 一般会計			
事業区分A: 本会計			
			(単位: 円)
科目	摘要	金額	
600 事業費支出		1,099,500	
100 事業費支出		1,099,500	
120 本部団関係費支出		198,000	
300 旅費交通費支出	会員会議所会議 他LOM新年会・周年他		0
900 渉外費支出	全国大会 京都会議他		198,000
150 資料作成費支出			60,000
500 資料費支出	総会資料		60,000
180 渉外費支出			211,500
910 役員渉外費支出	会員会議所会議登録料 他LOM新年会・周年他		211,500
930 記念品代支出	理事長記念品		0
190 旅費交通費支出			50,000
320 交通費支出	ブロック出向者 ブロック・他LOM事業参加費		50,000
230 寄付金支出	ボーイスカウト 国際交流協会		30,000
250 預り金支出			0
260 会員拡大特別委員会事業費支出			550,000
120 事業予備費支出	事業予備費		0
610 管理費支出		506,130	
100 会議費支出	総会		0
140 通信・発送費支出	電話 FAX 切手代		200,100
150 消耗品費支出	事務用品 コピー用紙		55,000
160 会員支給品費支出	日本JC共済会 ネームプレート 他		175,500
170 リース料支出			0
200 光熱水料費支出			7,000
210 貸借料支出			0
220 業務委託支出	役員登記料等		28,530
260 渉外費支出	慶弔費		30,000
270 雑支出	銀行振込手数料他		10,000
620 負担金支出		119,388	
100 JCI負担金支出	正会員6名×1,612他		9,438
110 日本JC負担金支出	正会員6名×5,000他		30,000
120 地区協議会負担金支出	正会員6名×1000他		11,000
130 ブロック協議会負担金支出	正会員6名×5,000他		40,000
140 国際協力資金支出	正会員6名×5×365日他		10,950
160 WeBelieve購読料支出	正会員6名×3,000他		18,000
630 他会計への繰入金支出		0	
110 特別会計への繰入金支出			0
001 予備費支出		2,131,584	
	合計		3,856,602

2021年度 組織図



2021年度 (一社) 鴨川青年会議所役員名簿

理事長	小越 友		
直前理事長	座間 斉		
副理事長	福原 基暢		
専務理事	須金 幹晴		
理事	佐藤 和幸	四井 大介	
監事	菅原 明善	正木 邦明	森谷 義眞

2021年度年初決定事項

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1. 例会日 | 第2火曜日 |
| 会場 | 鴨川市中央公民館 |
| 2. 理事会 | 第1火曜日 |
| 会場 | 笹元 |
| 3. 会費 | 正会員 ¥ 120,000- |
| | 特別会員 ¥ 40,000- |
| | シニアクラブ ¥ 300,000- |
| | 賛助会員 ¥ 0- |
| | (正会員の初年度は入会金のみ) |
| 4. 入会金 | ¥ 15,000- |
| 5. 例会担当月 | 担当 |
| | 1月 会員拡大特別委員会 |
| | 2月 会員拡大特別委員会 |
| | 3月 会員拡大特別委員会 |
| | 4月 会員拡大特別委員会 |
| | 5月 会員拡大特別委員会 |
| | 6月 会員拡大特別委員会 |
| | 7月 会員拡大特別委員会 |
| | 8月 会員拡大特別委員会 |
| | 9月 会員拡大特別委員会 |
| | 10月 会員拡大特別委員会 |
| | 11月 会員拡大特別委員会 |
| | 12月 会員拡大特別委員会 |